

PRO-800

Classic Analog 8-Voice Polyphonic Synthesizer with 2 VCOs, Classic VCF, Arpeggiator, Sequencer and 400 Program Memories in Eurorack Format

JP

JP 安全にお使いいただく
ために**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (14"TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したものののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものののみをお使いください。

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

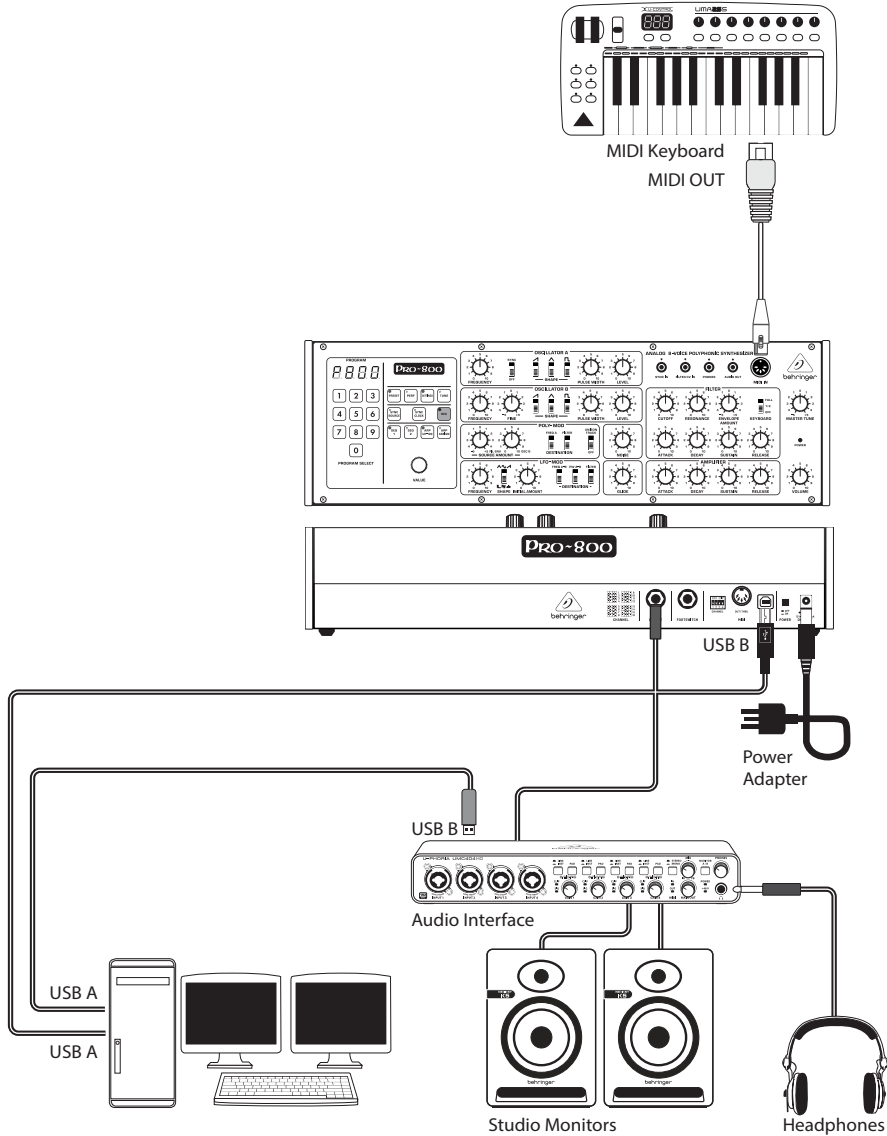
限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

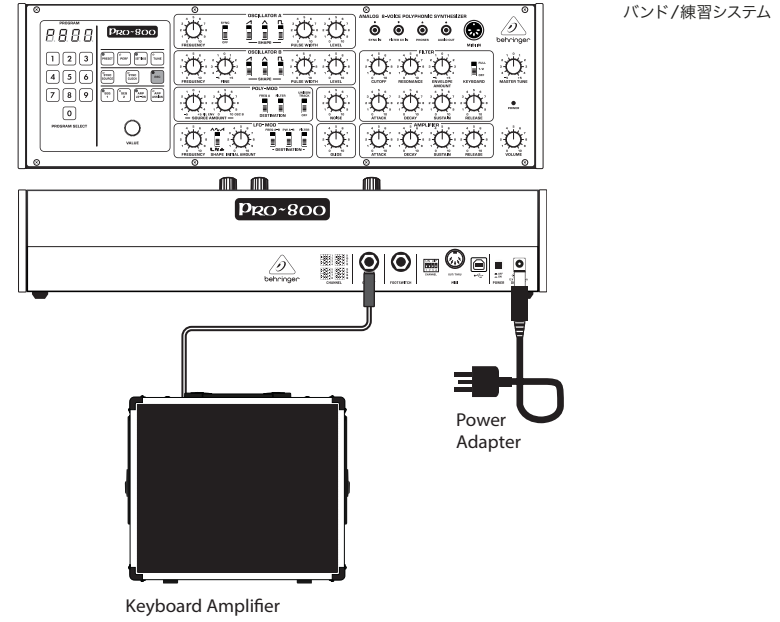
PRO-800 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

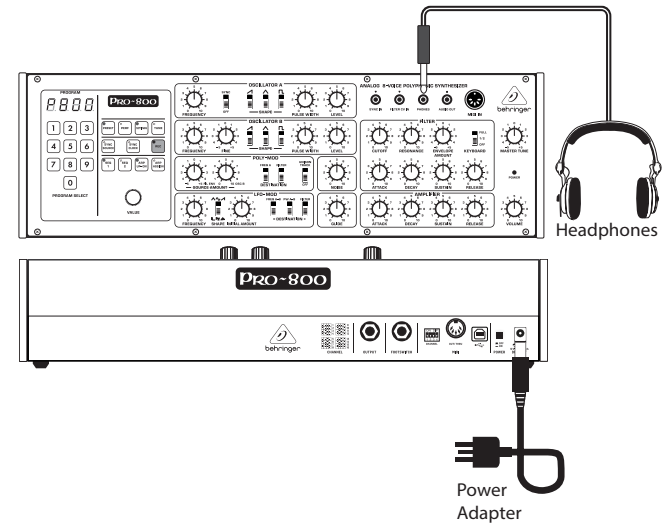
スタジオシステム



バンド/練習システム



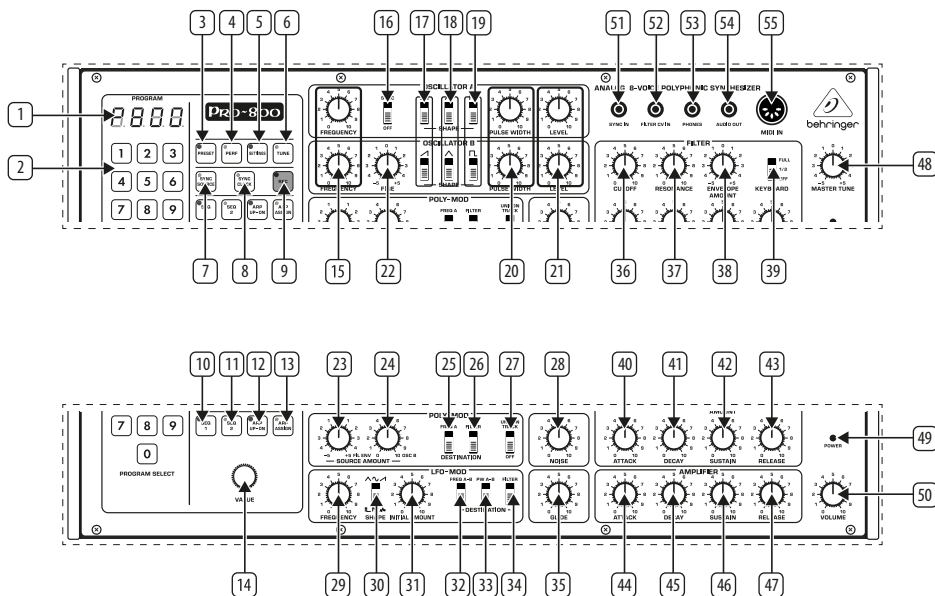
練習システム



PRO-800 コントロール

ステップ 2: コントロール

トップパネル



背面パネル



トップパネル

- 1 **PROGRAM DISPLAY** - 現在のモード - プリセットまたはマニュアル - を表示します; メニュー使用時はパラメーターも表示します。
- 2 **PROGRAM SELECT 0-9 switches.** 0-100 番までのプログラムを選択します。プログラムバンクは 4 つあり、プログラムは全部で 400 個となります。またこれらのボタンは、以降解説するように、メニュー機能へのアクセスにも使用します。
- 3 **PRESET** - 有効時、PRO-800 がメモリに従いプログラムされていることを表示します。消灯している場合はマニュアルモード、点滅している場合は、パラメーターに編集が加えられ、保存はされていない状態を示します。
- 4 **PERF** - PRO-800 をマニュアルモードに切り替えます。前面パネルのコントロール類が有効になります。1 回押しとパッチパラメーターにアクセスし、2 回押しとマニュアルモードにアクセスします (ディスプレイに P800 と表示されます)。
- 5 **SETTINGS** - セットアップメニューに入ります。
- 6 **TUNE** - オシレーターおよびフィルターのチューニングを有効にします。
- 7 **SYNC SOURCE** - 内部クロック、MIDI、USB および Sync In (同期入力) のいずれかを選択します。
- 8 **SYNC CLOCK** - 1 回押しとクロックの BPM を設定します。2 回押し: クロックの拍子 (1/4、1/8、等)、3 回押し: PPQN セットアップでのクロック: 24、48、96、192。
- 9 **REC** - プログラムまたはシーケンスを保存する際に使用します。またアルペジエーターのラッチにも使用します。
- 10 **SEQ 1** - レコーディング先またはプレイバック元にシーケンスバンク1を選択します。
- 11 **SEQ 2** - レコーディング先またはプレイバック元にシーケンスバンク2を選択します。
- 12 **ARP UP DN** - キーの位置によってアルペジエーターを制御します。詳しくは後段の“アルペジエーター”の項をご参照ください。
- 13 **ARP ASSIGN** - キーの順番によってアルペジエーターを制御します。詳しくは後段の“アルペジエーター”の項をご参照ください。
- 14 **VALUE** - テンポ等のパラメーター値の調整に使用します。
- 15 **FREQUENCY** - 両オシレーターとも 4 オクターブの範囲で調節します。周波数範囲は追加パラメーターメニュー (後述) で設定します。
- 16 **SYNC** - OSC A を OSC B にハードシンクで追跡させます。
- 17 **SAWTOOTH** - 全ての倍音を含むフルレベルの波形となります。
- 18 **TRIANGLE** - 倍音エネルギーをほとんど含まない、フルレベルの三角波となります。
- 19 **PULSE** - パルス幅コントロールの設定に基づき、フルレベル波形を有効にします。
- 20 **PULSE WIDTH** - 1~99% の間でサイクルを設定し、パルス波の倍音成分を調節します。50% ではほぼスクエア波となります。
- 21 **LEVEL** - オシレーターの音量を決定します。5 まではクリーン信号で、その後は徐々にディストーションエフェクトが付加されます。
- 22 **FINE** - OSC B 周波数を最大 1 セミトーン* (*半音) まで上げることが可能で、デチューン効果を創出します。
- 23 **FIL ENV** - Polymod のフィルターエンベロープジェネレーターソースのレベルを調節します。
- 24 **OSC B** - Polymod の OSC B ソースのレベルを調節します。
- 25 **FREQ A** - Polymod の行き先となる OSC A 周波数を選択します。
- 26 **FILTER** - Polymod の、Destination のフィルターカットオフ周波数を選択します。
- 27 **UNISON TRACK** - キーを押していない状態では、プログラムは UNISON (ユニゾン) 動作に切り替わり、8 つのボイスはすべてモノフォニックに、1 つのノートに割り当てられます。コードを長押しするとユニゾンが有効になり、コードはキーボード上をトラックアップ/ダウンします。1 つの音を押しながらボタンを押すと、Pro 800 がモノフォニックシンセサイザーに変わります。
- 28 **NOISE** - ノイズジェネレーターのレベルを上げます。
- 29 **LFO FREQUENCY** - LFO スピードをおよそ 0.25 ~ 20 Hz の間で調節します。
- 30 **SHAPE** - LFO シェイプは追加パラメーターメニューで選択し、またペアで割り当てられます。1. トライアングル/パルス 2. サイン波-ランダム 3. ノコギリ波-ノイズ。
- 31 **INITIAL AMOUNT** - 外部 MOD ホイールとは独立で、モジュレーションの深さをプログラムします。

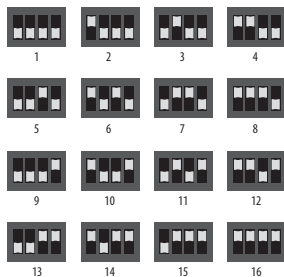
PRO-800 コントロール

ステップ 2: コントロール

- [32] **FREQ A-B** – 両オシレーター周波数に LFO モジュレーションを適用します。
- [33] **PW A-B** – 両オシレーターのパルス幅に LFO モジュレーションを適用します。
- [34] **FILTER** – フィルターカットオフ周波数に LFO モジュレーションを適用します。
- [35] **GLIDE** – ノート間のポルタメントを増加させます。
- [36] **CUTOFF** – 24 dB/オクターブ (4 極) ローパスフィルターのカットオフ周波数を調節します。
- [37] **RESONANCE** – フィルターのレゾナンスを調節します。カットオフポイント付近の周波数を強調します。
- [38] **ENVELOPE AMOUNT** – 適用したエンベロープのデプスを設定します。「0」に設定した場合、フィルターエンベロープ効果は発現しません。
- [39] **KEYBOARD** – 「FULL」側を選択時、CV はフィルターカットオフ周波数に適用され、フィルターはキーボードをトラックします。オフ側では、プレイするノートが高くなるにつれて、低い音域と比べ、よりオーバートーンが抑制されます。½ に設定すると、「FULL」および オフ設定の中間的な効果となります。「FULL」側では、自動発振フィルターがより正確にキーボードを追随します。
- [40] **ATTACK** – フィルターのエンベロープのアタックタイムを制御します。
- [41] **DECAY** – フィルターのエンベロープのディケイ (減衰) タイムを制御します。
- [42] **SUSTAIN** – フィルターのエンベロープのサステインレベルを制御します。
- [43] **RELEASE** – フィルターのエンベロープのリリースタイムを制御します。
- [44] **ATTACK** – アンプリファアのエンベロープのアタックタイムを制御します。
- [45] **DECAY** – アンプリファアのエンベロープのディケイ (減衰) タイムを制御します。
- [46] **SUSTAIN** – アンプリファアのエンベロープのサステインレベルを制御します。
- [47] **RELEASE** – アンプリファアのエンベロープのリリースタイムを制御します。
- [48] **MASTER TUNE** – シンセの全体的なチューニングを調節します (+1 セミトーン*)。*セミトーン = 半音
- [49] **POWER LED** – 電源がオンの時に点灯します。
- [50] **VOLUME** – マスターボリュームを設定します。
- [51] **SYNCH IN** – 外部ソースと同期接続をおこないます。
- [52] **FILTER CV IN** – フィルターカットオフを外部ソースで制御する際に使用します (量はセッティングメニューで設定します)。
- [53] **PHONES** – ヘッドフォン接続。
- [54] **AUDIO OUT** – ½ オーディオ出力。
- [55] **MIDI IN** – 選択した MIDI チャンネルの MIDI データ入力を受け入れます。

背面パネル

- [56] **OUTPUT** – ¼" インチジャックケーブルで、ミキサーまたはオーディオインターフェイスに接続します。
- [57] **FOOTSWITCH** – フットスイッチを接続し、サステインを制御します。
- [58] **MIDI CHANNEL SELECTION.** 4つのディップスイッチで、MIDI チャンネルを選択します。



- [59] **MIDI OUT/THRU** – MIDI データを出力する、MIDI 出力/スルー端子です。
- [60] **USB PORT** – USB を通じて MIDI 情報を送受信する端子です。アップデートにも使用します。
- [61] **POWER SWITCH** – シンセサイザーをオン/オフします。
- [62] **POWER INPUT** – ここには必ず付属のパワーサプライのみを接続してください。

PRO-800 はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

この「はじめに」ガイドは、PRO-800 の設定と簡単な機能の紹介に役立ちます。

接続

PRO-800 をシステムに接続するには、このドキュメントの前の接続ガイドを参照してください。

ソフトウェアのセットアップ

PRO-800 は USB クラス準拠の MIDI デバイスなので、ドライバのインストールは必要ありません。PRO-800 は、Windows および MacOS で動作するために追加のドライバーを必要としません。

ハードウェアのセットアップ

システム内のすべての接続を確認します。接続を行う場合は PRO-800 電源をオフにしてください。

サウンドシステムの電源がオフになっていることを確認します。

PRO-800 の電源を入れてから、パワーアンプをオンにして、最後に電源を切ります。これにより、スピーカーの「ポップまたはサウンド」のオン/オフを防ぐことができます。

ウォームアップ時間

録画やライブの前に PRO-800 がウォームアップするまでに 15 分以上の時間を残すことをお勧めします。(寒さから持ち込まれた場合は長く。これにより、高精度アナログ回路が通常の動作温度に達し、性能を調整することができます。)

ファームウェアの更新

ベーリンガー SYNTHTRIBE アプリのアップデートについては、定期的に behringer.com ウェブサイトをチェックしてください。

アプリは、ダウンロードして PRO-800 を更新するために使用することができる最新のファームウェアファイルを探します。

ウォームアップチューンタイム

最初の電源投入時、PRO-800は自動で整調をおこないます。チューニングライトが点灯し、ディスプレイには、オシレーターA、B、フィルターのそれぞれについて、A1からA8、b1からb8、F1からF8と、調整中のオシレーターまたはフィルターが表示されます。このルーティーンが完了するまで、お使いのインストゥルメントのチューニングによりますが、約20秒かかります。

通常、起動してから安定動作温度に至るまでの30分の間に、再チューニングが必要となります。チューニングは、必要に応じて、チューニングボタンを押して実行してください。

マニュアルモード/プリセットモード

PRESET (プリセット) ボタンを押して、マニュアルモードと切り替えます。マニュアルモードでは、シンセサイザーパラメーターのサウンドパラメーターはインストゥルメントのアクティブな音の状態を反映し、プリセットモードでは、サウンドは、保存済みパッチとなります。

保存済みパッチ、マニュアルパッチ、またはプリセットパッチは、次の手順でいつでも編集可能です:

1. キーパッドの **RECORD** ボタンを押します。ボタンが点滅します。
2. パッチの保存場所を指定する2ケタの番号を押します。

パッチが保存されます。すると、それ以前にその場所に保存されていたパッチが上書きされます。

RECORD の点滅中は、パッチ保存はキャンセルが可能ですが、その場合は、他のボタンを押すより前に、**RECORD** ボタンをもう一度押します。

追加パラメーターメニュー

下の表は、シンセサイザーの追加パラメーターにアクセスするのに必要な、パラメーターおよびキーパッドボタンの概要です。パラメーターにアクセスするには、**PERF** を一度押します。

パラメーターを選択するには、キーパッドナンバーを繰り返し押して、オプションをスクロールすると、名称および値が表示されます。編集をおこなうには、**VALUE** コントロールを使用します。

キー	パラメーター	選択
1	LFOシェイプ	パルス波-三角波 / ランダム-サイン波 / ノイズ-ノコギリ波 (下記参照)
	LFOターゲット	AB / A / B
	LFOスピード範囲	速い / 遅い
2	ビブラート速度	-
	ビブラート量	-
3	モジュレーションホイール量	最小 / 低 / 高 / 最大
	モジュレーションホイールターゲット	ビブラート
	モジュレーションディレイ	-
4	VCAエンベロープシェイプ	速-指数関数 / 速-リニア / 遅-指数関数 / 遅-リニア
	VCFエンベロープシェイプ	速-指数関数 / 速-リニア / 遅-指数関数 / 遅-リニア
5	ピッチバンドターゲット	オフ / VCO / VCF / 音量
	ピッチバンド範囲	0-24
6	オシレーターA周波数ポットモード	フリー / 半音 / オクターブ (下記参照)
	オシレーターB周波数ポットモード	フリー / 半音 / オクターブ (下記参照)
	Keyboard Tracking Reference Note	C1, C2, C3, C4
7	VCAベロシティ量	-
	VCFベロシティ量	-
8	VCAアフタータッチ量	-
	VCFアフタータッチ量	-
9	LFOアフタータッチ量	-
	Unison / Spread Detune	-
0	Voice Spread	On / Off
	Glide Mode	Time / Speed

LFOシェイプ

PRO-800では、標準的な三角波およびスクエア波に加え、サイン波(ノコギリ) ランダムアップ、ランダム、ノイズの合計6つの波形に対応しています。任意の波形を選択するには:

1. 三角波、サイン波またはノコギリ波:
 1. プリセットモードの場合、「Settings」が点灯していることを確認してから押し、追加パラメーターメニューにアクセスします。

2. LFO-MODシェイプボタンを三角波に切り替えます。
3. 1ボタンを1回押し、Valueコントロールを使用して三角波、サイン波またはノコギリ波を選択します。選択内容がディスプレイに表示されます。
2. スクエア波、ランダムまたはノイズ:
 1. Prefモードに入ります。
 2. LFO-MODシェイプボタンをスクエア波に切り替えます。
 3. 1ボタンを1回押し、Valueコントロールを使用してスクエア波、ランダムまたはノイズを選択します。選択内容がディスプレイに表示されます。

オシレーター周波数コントロールモード

オシレーターAおよびBの周波数範囲は、オクターブ(初期値)、クロマチック、そしてフリーの、3種類のモードで制御可能です。範囲は変わりませんが、微調整の程度を大きく〜微細に加減して、オシレーターの周波数をスワイプすることが可能です。オシレーターのスワイプモードを選択するには、追加パラメーターページでボタン8を2回押し、VALUEコントロールを使って選択します。

グローバル設定メニュー

SETTINGS を1回押し、グローバル設定にアクセスし、任意のキーパッド番号を使用して、選択肢をスクロールします。

キー	パラメーター	選択 / (備考)
1	MIDI Rx チャンネル	Off / 1 - 16 / All / Dipswitch
	MIDI Tx チャンネル	Thru / 1 - 16 / All / Dipswitch
	MIDI CC	Off / Tx / Rx / TxRx
	MIDI PC	Off / Tx / Rx / TxRx
	同期入力前進	オン / オフ
	同期入力極性	上昇 / 下降
	同期入力スタート / 停止	オン / オフ
	同期入力 PPQN	1 PPS / 2 PPQ / 4 PPQ / 24 / 48
	Local	On / Off
	Soft Thru	On / Off
2	トランスポーズ	-
3	プリセットダンブ	(2回押しと SysEx ダンブを確定)
4	ボイス選択	1 - 8
	ボイススキル	0オン / キル
5	リチューンエレメント	Osc A / Osc B / VCF
	オクターブ	すべて / Oct 0-7
6	リチューンエンコーダー	2回押しと開始

7	画面輝度	-
	パラメータータイム表示	-
	プリセット名表示	
8	オートチューンプレジジョン	0.5c / 1.0c / 1.5c / 2.0c
9	外部フィルターモジュレーション	-
	ボイス極性	ラスト / 低 / 高
0	ファクトリーリセット	(2回押しと工場出荷時設定への復元を確定)

SETTINGS ボタンを長押ししながら TUNE ボタンを押すと、直近にプレイしたノートをチューニングします。

これはプリセットデータに保存されます。

プリセットパラメーター

プリセットパラメーターへのアクセスは、PRESET ボタンを押しながらキーパッドボタンを使用して、任意のパラメーターを選択します。

キー	パラメーター	備考
1	バンク A	-
2	バンク B	-
3	バンク C	-
4	バンク D	-
5	プリセットコピー	(現在のプリセット値をコピー)
6	プリセットペースト	(コピーしたプリセットを新規位置にペースト。2回押しと確定)
7	プリセットのランダム化	-
8	バンクコピー	1回押しと現在のバンクをコピー。別のバンクを探し、9を使用。
9	バンクペースト	PRESET を長押しし、2回押ししてコピーしたバンクを新規位置にペーストします。
0	基本のパッチにリセットする	

オートチューン

TUNEボタンは、オシレーターとフィルタの自動キャリブレーションを開始し、プロセス中に出力をミュートします。短いプレスは、すべてのチューニングデータをリセットし、デバイスを完全にキャリブレーションします。長押しは、アナログ回路の温度変化に合わせて調整の高速再調整を開始します。

コードモード

コードを押さえながら UNISON TRACK (ユニゾントラック) をオンにすると、そのコードが記憶され、キーボード上でトランスポーズ可能になります。コードはプリセットの一部として保存されます。UNISON モードでコードを押さえながらサステインペダルを押すことでも、同様に設定できます。

トランスポジション

PERF ボタンと SETTINGS ボタンを長押ししながら、接続した MIDI キーボードでノートをプレイすると、キーボードはプレイしたノートをくとして、移調します。

キーボードモード

PRO-800 には、ポリフォニック、ユニゾン、コードモードがあります。

- シンセサイザーは、新規ノートが8つのボイスのいずれかに割り当てられる、ポリフォニックモードでスタートします。
- キーを押していない状態で **Unison Track** をオンにすると、ユニゾンモードになり、8つのボイスは同一のノートをプレイします。
- 1つ以上のキーを押している状態で **Unison Track** をオンにすると、コードモードに入ります。それらのキーで作成されたパターンは、新規ノートによってキーボードの全範囲に移調が可能です。
- 1つのキーを押してユニゾントラックをオンにすると、シングルボイスユニゾンモードに入ります。

フットスイッチ入力はノートの新規パターンのラッチに使用します。新規ノートは、下記の優先度に従ってボイスに割り当てられます:

- 直近: 常に新規ノートをプレイ; 一番古いノートは無くなります。
- ロー: 最低音のみがプレイされます。ユニゾンまたはコードモードでは、レガートが有効になります。
- ハイ: 最高音のみがプレイされます。ユニゾンまたはコードモードでは、レガートが有効になります。

割り当て優先度は追加パラメーターメニューで設定します。

アルペジエーター

アルペジエーターにはパラメーターを設定するボタンが2つあります。アルペジオタイプを設定するには、ARP UP-DN ボタンをホールドし、キーボードを使用して以下を選択します:

- 1- アルペジオ アップ
- 2- アルペジオ ダウン
- 3- アルペジオ アップ&ダウン
- 4- アルペジオ アップ後ダウン

アルペジエーターの割り当ては、ARP ASSIGN (アルペジオ割り当て) ボタンをホールドし、キーボードで選択します:

- 1- プレイした順
- 2- ランダム

ARP ボタンをホールドして REC を押すと現在プレイしているノートをホールドします。アルペジエーターのホールドにはフットスイッチ入力も使用できます。

音符またはコードを押したまま ARP UP-DN ボタンを押すと、アルペジオなしでドローンで音符/コードが保持されます。

シーケンサーレコーディング

1. RECORD をオンにします。
2. SEQ 1 または SEQ 2 のいずれかを押しします。
3. プレイを開始します (最初のキーを押すまでレコーディングは開始しません)。
4. 終了したら、任意のエンドポイントでフットスイッチまたは RECORD を押しします。
5. シーケンスは、2 で押した SEQ スイッチをオフにするまでループし続けます。必要に応じて SPEED コントロールを調節します。
6. ノート制限を超えないように注意が必要です。ノート数の上限は 400 ですが、シーケンスに長い休符がある場合は、それよりも少なくなります。ノート制限を超過すると、シーケンスには新しくプレイした方から 400 のノートのみが残り、それ以前のノートは消失します。
7. 両方のバンクを使用している場合も、400 のノート制限を超えないよう注意が必要です。シーケンサーはメモリー優先度を、現在レコーディング中のバンクに割り当てますが、その際、ノートが 400 に達すると、足りない分をもう一方のバンクから「盗み」ます。例えば、SEQ 1 に 250 のノートを含むシーケンスが既にレコーディングされている場合、SEQ 2 に 150 を超過するノートをレコーディングしようとする、足りない分を、SEQ 1 からノートを消去して補填します。

シーケンサープレイバック

1. シーケンスをプレイバックするには、SEQ 1 または SEQ 2 を押しします。
2. プレイバック速度は ¼ ~ 実際の時間の 4 倍までの間で可変です。SPEED コントロール位置が中央左側で、1:1 プレイバックスピードとなっています。それにより、スピードの速い側で制御できる範囲が広がっています。
3. プレイバック速度はプログラム可能です。シーケンサーのプレイバック中に、SPEED を任意に設定し、RECORD スイッチ (点灯はしません) を押しします。以降そのシーケンスの選択時は常に、そのスピードでプレイされます。プログラムしたスピードは再編集および再レコーディングが可能です (シンセサイザーコントロール同様)。

停止するには、上記 1 と同じ SEQ スイッチ、またはフットスイッチを押します。

パワーアップ

PRESET ボタンを押しながら PRO-800 の電源を入れると、ジェネリックプリセットを読み込み、編集が可能になります。SETTINGS ボタンをホールドしながら電源を入れると、すべての設定をリセットし、工場出荷時の状態を復元します。キーボードの「0」キーをホールドしながら電源を入れると、ボタンテストを実行します。

ユーロラック のインストール

PRO-800 は工場のシャーシから取り出し、標準的なユーロラックケース (供給されていない) に取り付けることができます。

この手順は、PRO-800 への人身傷害や損傷を防ぐために、経験豊富なサービス技術者によってのみ実行することをお勧めします。ユーロラックのケースは PRO-800 に電力を供給するのに十分な容量を持つ適切な電源を持っている必要があります。消費は 12VDC で 1.2A アンペアです。

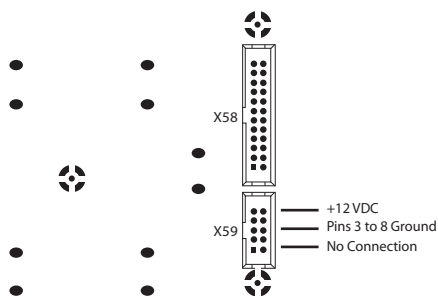
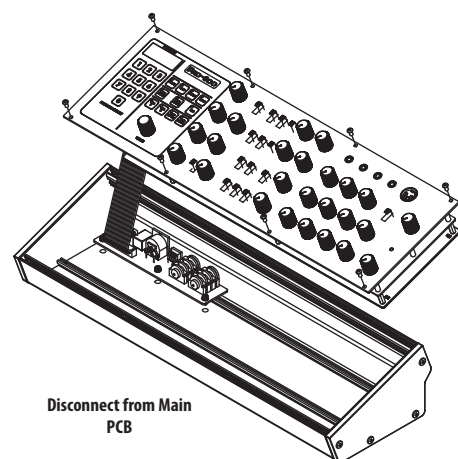
10 ピンから 16 ピンのアダプターリボン ケーブルは PRO-800 と供給される。

進む前に、Eurorack ケースが +/- 12V DC と接地を正しいピンに供給し、ケーブルが正しい向きであることを確認してください。

プロシージャ

すべての手順を正しい順序で実行してください。

1. PRO-800 への電源と他のすべての接続を外します。
2. 図に示すように、上部パネルの 8 本のネジを元に戻します。他のねじを元に戻す必要はありません。
3. 慎重にトップパネルアセンブリを持ち上げ、PCB が上向きになるようにひっくり返します。メイ PCB の下側からリボンケーブルを引っ張らないように注意してください。
4. PRO-800 のメイン PCB から 24 ピンリボンケーブルを外し、シャーシからアセンブリを取り外します。



5. シャーシアセンブリと電源を安全で乾燥した場所に保管します。
6. 付属のリボンケーブルアダプタの 10 ピン端子を PRO-800 のメイン PCB にしっかりと接続します。
7. Eurorack ケースがメインから分離されていることを確認し、リボンケーブルの 16 ピンエンドをケースのスペアコンセントに接続します。
8. 8 つのパネルネジを使用して、PRO-800 をケースに固定します。
9. モジュールを使用する前に、完全な安全性テストを実行します。

MIDI Continuous Controllers

Pro 800 は MIDI CC コントロール番号に応答します:

CC Num	Hex	Continuous - Coarse	Continuous - Fine tune	Stepped params	MIDI standard
0	0	-	-	-	Bank sel
1	1	-	-	-	Mod Wheel
2	2	-	-	-	Breath
3	3	-	-	-	Master Tune
6	6	-	-	-	NRPN Data MSB
7	7	-	-	-	Main volume
8	8	OSC A Freq	-	-	-
9	9	OSC A Vol	-	-	-
10	A	OSC A PW	-	-	-
11	B	OSC B Freq	-	-	-
12	C	OSC B Vol	-	-	-
13	D	OSC B PW	-	-	-
14	E	OSC B Fine	-	-	-
15	F	VCF Freq	-	-	-
16	10	VCF Reso	-	-	-
17	11	VCF ENV amount	-	-	-
18	12	VCF Rel	-	-	-
19	13	VCF Sus	-	-	-
20	14	VCF Dec	-	-	-
21	15	VCF Atck	-	-	-
22	16	VCA Rel	-	-	-
23	17	VCA Sus	-	-	-
24	18	VCA Dec	-	-	-
25	19	VCA Atck	-	-	-
26	1A	Pmod Filter Env amount	-	-	-
27	1B	Pmod OSC B amount	-	-	-
28	1C	LFO Freq	-	-	-
29	1D	LFO Amount	-	-	-
30	1E	Glide	-	-	-
31	1F	VCA Vel	-	-	-
32	20	VCF Vel	-	-	-
33	21	Mod delay	-	-	-
34	22	Vib Freq	-	-	-
35	23	Vib Amt	-	-	-
36	24	Unison Detune	-	-	-
37	25	Noise	-	-	-
38	26	-	-	-	NRPN Data LSB
39	27	VCA Aftertouch	-	-	-
40	28	VCF Aftertouch	-	-	-
41	29	LFO Aftertouch amount	-	-	-
42	2A	Pitch Range	-	-	-

CC Num	Hex	Continuous - Coarse	Continuous - Fine tune	Stepped params	MIDI standard
48	30	-	-	OSC A Saw	-
49	31	-	-	OSC A Saw	-
50	32	-	-	OSC A Square	-
51	33	-	-	OSC B Saw	-
52	34	-	-	OSB B Tri	-
53	35	-	-	OSB B Square	-
54	36	-	-	OSC B Sync	-
55	37	-	-	Pmod Freq A	-
56	38	-	-	Pmod VCF	-
57	39	-	-	LFO Shape	-
58	3A	-	-	LFO Speed	-
59	3B	-	-	LFO Targets	-
60	3C	-	-	VCF Keyboard	-
61	3D	-	-	VCF ENV Exp	-
62	3E	-	-	VCF ENV Speed	-
63	3F	-	-	VCA ENV Exp	-
64	40	-	-	-	Sustain pedal
65	41	-	-	Unison	-
66	42	-	-	Bender target	-
67	43	-	-	Modwheel Amount	-
68	44	-	-	Chromatic Pitch A	-
69	45	-	-	Chromatic Pitch B	-
70	46	-	-	Modwheel Target	-
72	48	-	-	VCA ENV Speed	-
73	49	-	-	Arp Mode	-
74	4A	-	-	LFO Dest Freq	-
75	4B	-	-	LFO Dest Filter	-
76	4C	-	-	LFO Dest PWM	-
77	4D	-	-	Voice Spread	-
78	4E	-	-	Keyboard Tracking	-
79	4F	-	-	Glide Mode	-
80	50	-	OSC A Freq	-	-
81	51	-	OSC A Vol	-	-
82	52	-	OSC A PW	-	-
83	53	-	OSC B Freq	-	-
84	54	-	OSC B Vol	-	-
85	55	-	OSC B PW	-	-
86	56	-	OSC B Fine	-	-
87	57	-	VCF Freq	-	-
88	58	-	VCF Reso	-	-
89	59	-	VCF ENV amount	-	-
90	5A	-	VCF Rel	-	-
91	5B	-	VCF Sus	-	-
92	5C	-	VCF Dec	-	-
93	5D	-	VCF Atck	-	-

CC Num	Hex	Continuous - Coarse	Continuous - Fine tune	Stepped params	MIDI standard
94	5E	-	VCA Rel	-	-
95	5F	-	VCA Sus	-	-
96	60	-	-	-	NRPN Data increment
97	61	-	-	-	NRPN Data decrement
98	62	-	-	-	NRPN Param LSB
99	63	-	-	-	NRPN Param MSB
100	64	-	VCA Dec	-	-
101	65	-	VCA Atck	-	-
102	66	-	Pmod Filter Env amount	-	-
103	67	-	Pmod OSC B amount	-	-
104	68	-	LFO Freq	-	-
105	69	-	LFO Amount	-	-
106	6A	-	Glide	-	-
107	6B	-	VCA Vel	-	-
108	6C	-	VCF Vel	-	-
109	6D	-	Mod delay	-	-
110	6E	-	Vib Freq	-	-
111	6F	-	Vib Amt	-	-
112	70	-	Unison Detune	-	-
113	71	-	Noise	-	-
114	72	-	VCA Aftertouch	-	-
115	73	-	VCF Aftertouch	-	-
116	74	-	LFO Aftertouch	-	-
117	75	-	Pitch Range	-	-
120	78	-	-	-	All sounds off
123	7B	-	-	-	All notes off

JP 技術仕様

シンセサイザーアーキテクチャ

声の数	8
オシレーターの種類	音声ごとに 2x3340
タイプ	アナログ
発振器	16 (4つの範囲で 32.70 Hz ~ 8372.02 Hz)
LFO	1 (0.08 Hz ~ 20 Hz)
VCF	1x4 極ローパス (24 dB/oct. スロープ)
封筒	VCF、VCA

接続性

出力	¼" TS、不平衡、最大 +5.0 dBu
オーディオ出力	⅛" TS、不平衡、最大 +20.0 dBu
足踏みスイッチ	¼" TS、アンバランス
ヘッドホン	⅛" TRS、アンバランス、最大 7.5 mW @ 32 オーム
ヘッドフォンの出力インピーダンス	8 Ω
MIDI インアウト/スルー	2x5ピンDIN / 16 チャンネル
USB (MIDI)	USB 2.0、タイプ B
同期する	TS 3.5 mm 1PPS、2PPQ、24PPQ、48PPQ
Fliter CV IN	TS 3.5 mm 0 V ~ +10 V

USB

タイプ	クラス準拠の USB 2.0、タイプ B
サポートされているオペレーティングシステム	Windows 7 以降 / Mac OS X 10.11.6 以降

プログラムセクション

画面	4 番号、8 セグメントディスプレイ
ボタン	0 ~ 9 プログラム選択
	プリセット、パフォーマンス、設定、調整
	同期ソース、同期クロック、記録
コントロール	シーケンス 1、シーケンス 2、ARP UP-ON、Arpアサイン。
	値エンコーダ

発振器セクション

コントロール	頻度 (OSC A & B): -5 から +5
	レベル (OSC A & B) 0 ~ 10
	パルス幅 (OSC A & B) 0 ~ 10
スイッチ	ファイン (OSC B のみ)
	形状 (OSC A & B): 鋸歯状、三角形、パルス OSC A 同期: オン/オフ

POLY-MOD セクション

コントロール	FIL ENV 0 ~ 10
	OSC BS 0 ~ 10
スイッチ	周波数宛先
	フィルターの宛先

ノイズセクション

コントロール	騒音レベル 0 ~ 10
--------	--------------

LFO-MOD セクション

コントロール	頻度 0 ~ 10
	初期金額 0 ~ 10
スイッチ	形状: 三角形またはパルス
	周波数 A-B
	PW A-B フィルター

グライドセクション

コントロール	レート: 0 ~ 10
--------	-------------

フィルターセクション

コントロール	カットオフ周波数: 0 ~ 10
	レゾナンス: 0 ~ 10
	封筒の量: 0 ~ 10
	攻撃: 0 ~ 10
	崩壊: 0 から 10
	サステイン: 0 ~ 10
	リリース: 0 ~ 10
スイッチ	KYBD 量: オフ、½、フル

JP 技術仕様

アンプ部	
コントロール	攻撃: 0 ~ 10
	崩壊: 0 から 10
	サステイン: 0 ~ 10
	リリース: 0 ~ 10
出力セクション	
コントロール	ボリューム: 0 ~ 10
	マスターチューン -5 から +5
導いた	力
電力要件	
外部電源アダプタ	12 V DC 1200 mA
消費電力	最大 14.4 W
環境	
動作温度範囲	5°C から 45°C (41°F から 113°F)
物理的	
寸法 (H x W x D)	96.6 x 424.4 x 135.6 mm (3.8 x 16.7 x 5.3")
重さ	1645 g (3.63 ポンド)
ユーロラック HP	80 馬力

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You